

校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

今年の漢字

日本漢字能力検定協会が実施している「今年の漢字」の発表を聞くと、今年ももうすぐ終わりか、という気持ちになります。

さて、2014年の漢字は「税」でした。そう言えば、消費税が5%から8%になったのは今年の4月でした。なんだか遠い昔のことのような気がするのですが・・・。

老化が進みつつある私の頭では、かけ算九九の5の段は何かいけても、8の段になると少し怪しい。8%の消費税は悩ましい。だからといって10%の消費税では懐が寂しい。

来年の漢字は「心」とか「宝」とか、そんなのがいいなあ。

教科書に学ぶ

そう言えば、大化の改新で定められた税に「租」「庸」「調」があったなあと思いつつながら6年生の社会科の教科書を開いてみました。ありました。

「租」は、収穫した米の3%を納めることになっていました。教科書には、「租」を納める農民のイラストも載っていました。胸に稲穂を抱えて微笑んでいます。

さすが教科書です。8の段が苦手な8%の消費税にしかめっ面をしてはいけません。「税は笑顔で潔く」これが国民の心得であると改めて確信した次第であります。



税の絵はがきコンクール

公平で健全な税制実現のために設立された「法人会」の中の「法人女性部会」が主催する「税に関する絵はがきコンクール」というものがあります。

今年は、6年生がたくさん応募しました。その結果、なんと女性部会長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞8名、入選20名という快挙です。

いやいやこうなると、我が校の今年の漢字もやっぱり「税」ですね。「税」という文字が輝いて見えます。



紙の月

宮沢りえ主演の映画です。

銀行に勤めていた梨花（宮沢りえ）は、知り合った年下の大学生を喜ばせたいばかりに巨額の横領を働き、人生を転落していくというストーリーです。

梨花の子ども時代のエピソードも描かれています。

梨花が通う学校では、貧しい国の子どもたちを救うために、募金活動を行っていました。梨花は、貧しい国の子どもの喜ぶ顔を見たいばかりに、父親の財布から5万円という大金を抜き取り、そのお金を募金に回すのです。

梨花には、このことがなぜいけないことなのか分かりませんでした。貧しい国の子どもを救うためにしたことなのに・・・。

この映画を見ながら、ふとマハトマ・ガンジーの言葉を思い出しました。

手段は目的よりも大切で

正しい目的も

不正な手段を正当化することはできない

「非暴力」「不服従」によってインドをイギリスから独立に導いたガンジーの言葉です。

「母国の独立」という目的は正しくとも、暴力をもってその目的を果たそうとするのなら、それは正当化することはできないというのがガンジーの思想です。



今年も学ぶことの多い1年でした。また、皆様には大変お世話になりました。来年も皆様にとってよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。